

精神疾患への在宅支援

-
- 104-110 **1** **地域移行・地域定着の実践**
 —精神科病院の取り組み：チーム医療・地域連携を目指して
 ●酒井道代
-
- 111-115 **2** **地域精神医療，ACT での取り組み**
 ●渡邊真里子
-
- 117-121 **3** **「協働」で取り組む精神疾患への在宅支援**
 ●遠藤真史
-
- 122-126 **4** **肉（焼肉）と魚（漁業）から精神障害者の就労を考える**
 —ソーシャル焼肉屋を目指す KING KONG の挑戦
 ●仲地宗幸
-



2004 年に「精神保健福祉の改革ビジョン」が「入院医療中心から地域生活中心へ」を基本指針として示されて以来，統合失調症を中心とする長期入院者の退院促進と地域生活支援の施策が次々に打ち出されてきました。あわせて，薬物療法や心理社会的リハビリテーションの実践も当事者視点も加え発展してきました。その結果，退院促進がある程度進み病床数は減少傾向にあります。

一方，精神疾患の約 9 割の新規入院患者は 1 年以内に退院しており，再発・再入院防止が課題として挙げられています。地域で精神障害者が暮らすための支援として，どのような取り組みがあるのでしょうか。本特集ではリハビリテーション専門職のかかわりと多職種連携に焦点をあてて，地域での実践を紹介したいと思います。

企画担当 ● 香山明美（みやぎ心のケアセンター，作業療法士）